

ぎふ感染症かわら版

令和3年8月6日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

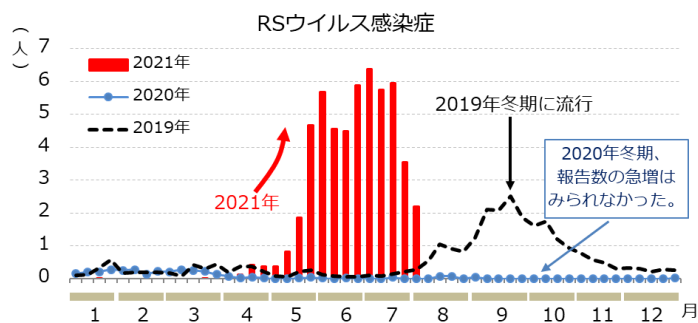


日常生活での感染症予防対策を再度ご確認ください。

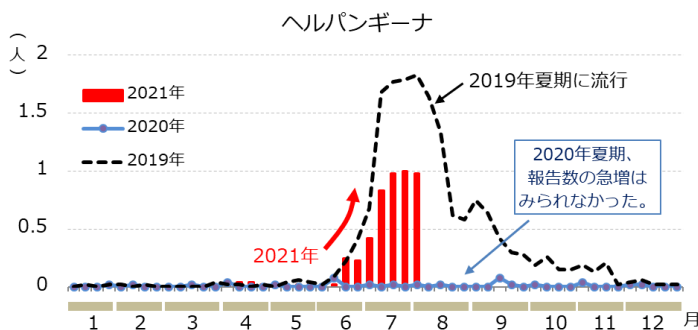
2020年は新型コロナウイルス感染症の流行が社会を混乱させた一方で、インフルエンザなど、多くの感染症の流行が低く抑えられた年でもありました。その理由として、新型コロナウイルス感染症を対象とした、日常生活での予防対策が大きいと考えられています。しかし2021年8月時点において、各種感染症の報告数には2020年と比較して増加傾向がみられ、感染リスクが高まりつつある状況と考えられます。

新型コロナウイルス感染症への警戒がなお続く現状においては、他の感染症の被害を少しでも抑えることが重要と考えられます。そのため日常生活の各場面において**石けんを使った手洗い**や、**アルコールによる手指の消毒**など、感染症への予防対策を再度ご確認ください。

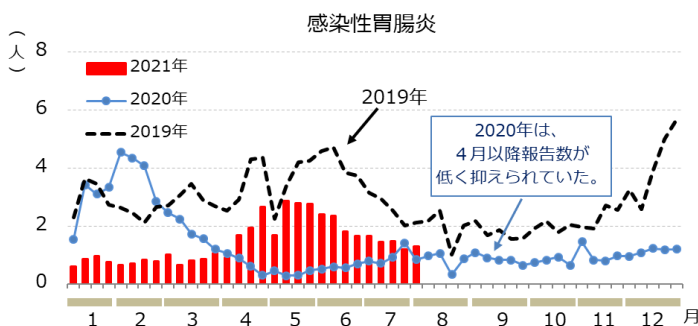
2021年における主な感染症の発生状況



RSウイルス感染症は例年秋から冬にかけて季節性の流行がみられました。2020年の流行はみられませんでした。2021年5月以降これまでにない規模で流行が起こっています。特に小さなお子さんへの感染に注意が必要です。



ヘルパンギーナは夏かぜの一種で、5才以下のお子さんが多くかかります。毎年夏期に季節性の流行がみられましたが、2020年にはみられませんでした。しかし2021年には季節性流行がみられます。



感染性胃腸炎はウイルスまたは細菌によって引起される感染性の胃腸炎の総称です。2020年4月以降、その報告数は低く抑えられていましたが、2021年4月以降の報告数には増加傾向がみられます。



いずれも1医療機関あたりの患者数の推移をグラフ化したもの
(※県内53の医療機関からの週ごとの報告)



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

岐阜県感染症情報センター

